

# つなぐ

Vol.39

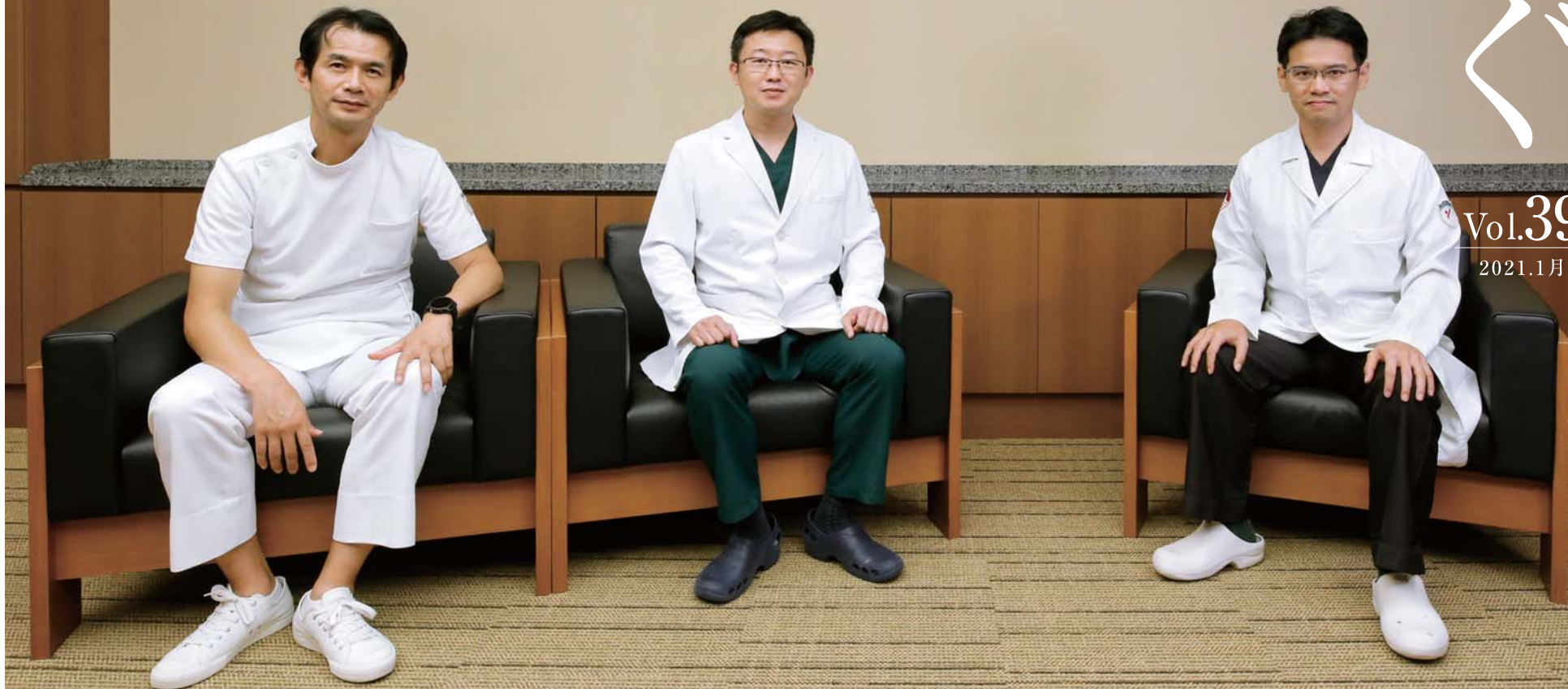
2021.1月

2020年11月30日、左心耳閉鎖術  
WATCHMANが50症例を迎えた。  
心房細動による脳梗塞を予防するため  
には、抗凝固薬を生涯服用することが推  
奨されているが、WATCHMANは消  
化管出血や脳出血などの出血リスクのた  
めに抗凝固薬を服用できない患者さんの  
ための治療法だ。

当院では循環器内科・脳神経外科・消化  
器内科が連携し、個々の患者さんの出血  
リスクなど患者背景に合致した治療法  
を選択するようにしている。いまや出血  
対策や脳卒中予防はいち診療科だけで  
完結できるものではなく、診療科の垣根  
を越えて行われるものとなった。

現在、当院におけるWATCHMAN施  
行後の薬物治療は、ワルファリン（NOAC  
も心相談）+アスピリンを45日間続けた後  
に、アスピリン+クロピドグレルの抗血小板薬  
2剤併用療法（DAPT）に切り替えて  
6ヶ月経過観察した後で、アスピリン単剤  
の生涯継続をスタンダードとしている。

個々の患者さんにもっとも最適な治療を  
提供するために各診療科がつながり、将  
来の出血リスクを下げるために何ができ  
るのかを共に考え語り合うことは、これ  
からの医療に欠かすことはできない。





第48回

# 小倉循環器内科セミナー

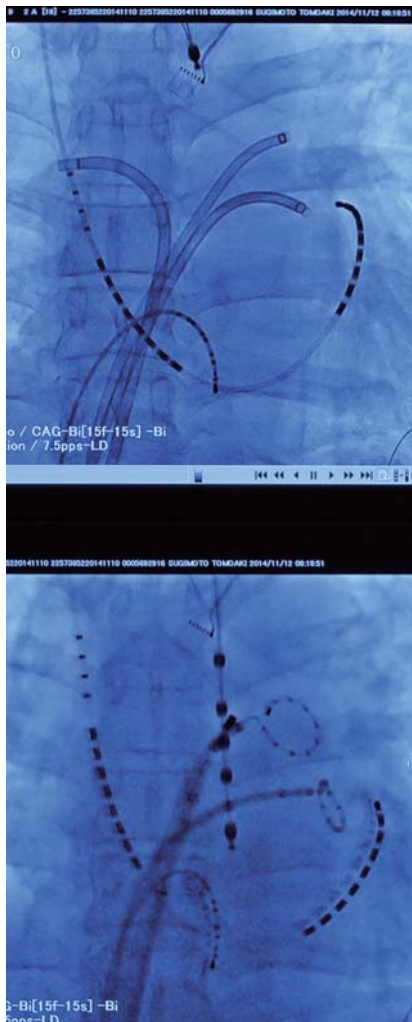
2021年 1月25日(月) 18:00~18:30

## カテーテルアブレーション の現状と展望

座 長／小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児



小倉記念病院  
循環器内科 部長  
廣島 謙一



### 参加方法



Zoomによる  
web参加のみとなります!

Zoomの事前登録は不要ですが、  
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



### PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



### スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで  
いただくと参加が可能になります。

